

スワルスキーカブリダニ剤 システムスワルくん	取扱メーカー： 石原 原体メーカー： 石原産業
成分： スワルスキーカブリダニ……………250頭/パック	性状： 淡褐色粒 毒性： — 消防法： —

【品目特性】……………

●アザミウマ類、コナジラミ類及びミカンハダニなどの害虫を捕食する天敵であるスワルスキーカブリダニを含有するパック製剤である。

●農作物を加害するアザミウマ類、コナジラミ類及びミカンハダニのみを捕食するので、農作物に影響を与えることなく、アザミウマ類、コナジラミ類及びミカンハダニを防除できる。

●薬剤抵抗性の発達したアザミウマ類、コナジラミ類及びミカンハダニにも効果を発揮する。

【使用上のポイント】……………

●パック内でのスワルスキーカブリダニの生存日数は短いので、入手後速やかに使用し、使いきる。

●パックは破らずに、作物の茎や枝などに直接又はできるだけ近接して吊り下げて放飼する。

●天敵保護装置を使用する場合は、パックを破らずにそのまま天敵保護装置の中に装着し、作物の茎や枝などに直接又はできるだけ近接して吊り下げるか株元に置く。吊り下げられない時は、ピン、ひもなどで固定する。

【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培、但しトマト、ミニトマトを除く)	アザミウマ類 コナジラミ類 チャノホコリダニ	100～200パック/10a	発生直前～発生初期	—	放飼	—
		8～25パック/100株				
かんきつ (施設栽培)	ミカンハダニ	1～5パック/樹				
マンゴー (施設栽培)	チャノキイロアザミウマ	1～2パック/樹				
びわ (施設栽培)	ミカンハダニ	2パック/樹				
花き類・観葉植物 (施設栽培)	アザミウマ類	200パック/10a				
		1～6パック/100株				

●苗床で使用する場合には、株数に応じて放飼量を調整する。

【薬効・薬害等の注意】……………

●害虫の生息密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないので、害虫の発生直前から発生初期に最初の放飼を行う。

●放飼はできるだけ均一に行うことを原則とするが、害虫の発生にムラがある場合には発生の多いところに重点的に放飼する。

●スワルスキーカブリダニの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の使用期間中に他剤を処理する場合は十分に注意する。

●かんきつのミカンハダニの防除に使用する場合は、無加温、厳冬期などの天敵が活動できない時期の使用をさける。

【安全対策上の注意】……………

●アレルギー体質の人は取扱いに十分注意する。